

印章取扱規程

(目的)

第1条 この規程は、公益財団法人札幌法律援護基金（以下「援護基金」という。）において使用する印章の作成、管理及び押印について、必要な事項を定めるものとする。

(定義及び種類)

第2条 この規程の印章とは、業務上作成された文書及び金融機関等との取引等に使用される印で、その印を押すことにより当該文書等が真正なものであることを確認することを目的とし、印章の種類は次のとおりとする。

- (1) 理事長実印（理事長印として印鑑登録済の印、銀行等金融機関届出の印）
- (2) 理事長角印（主として理事長名の外部案内文書、契約書に使用する印）
- (3) 援護基金角印（主として援護基金名の外部案内文書、領収証に使用する印）
- (4) 審査会角印（定款第32条第1項に定める審査会にて使用する印）

(印影)

第3条 印章は、次のとおりとする。

理事長実印 理事長角印 援護基金角印 審査会角印

(作成等)

第4条 印章の作成、改刻及び廃止の必要を生じた場合は、理事長の承認を要するものとする。

(管理)

第5条 理事長は、必要に応じて第2条に規定する印章を管理する者（以下「印章管理責任者」という）を指名することができる。

2 印章管理責任者は、印章が不正に使用されないことがないように、印章は常に堅固な容器に納め、執務時間外、勤務を要しない日及び休日にあつては、これを施錠しておかなければならない。

(事故報告)

第6条 第2条に規定する印章について、盗難、紛失等の事故があつたときは、印章管理責

任者は、直ちに、当該印章の種類、事故の内容、その他必要な事項を理事長に報告しなければならない。当該印章について、偽造、不正使用等の事故があったときも、同様とする。

(使用)

第7条 印章の押印を受けようとする者は、当該文書に係る決裁書を添えて印章管理者に提出し、その押印を請求するものとする。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、理事会の決議を経て行う。

附則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。